

## 海域史から見る台湾

### Taiwan from the Perspective of Maritime History

科目提供大学名	神戸女学院大学
担当教員	蔭木 原洋 (文学部 総合文化学科 特任教授)
単位数	2 単位
最大授業定員	40 名
開講学期	後期 3 時限 (15:30 ~ 17:00) 火曜日 (9 月 24 日 ~ 1 月 14 日、12 月 25 日 ~ 1 月 7 日は冬休み期間)
成績評価	出席、授業への参加度、講義内容に関するレポートで評価する。
テキスト	必要に応じて、その都度資料を配布する。
参考文献	特になし
授業以外の学習方法	特になし
その他の特記事項	参加受講生で各自関心のある「台湾史」の事例を 1 つあげて研究・報告する。
講義概要	従来政治的に語られがちで誤解の多い台湾史を、「海域史」の視点に立って、東インド会社、清、日本、中華民国の統治下で奮闘する台湾の人々の姿から見ていく。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</li> <li>・ 歴史に見られる課題を把握し、考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論する力を養う。</li> <li>・ よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養う。</li> </ul>
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大航海時代①</li> <li>2. 大航海時代②</li> <li>3. オランダ東インド会社の台湾統治①</li> <li>4. オランダ東インド会社の台湾統治②</li> <li>5. オランダ東インド会社の台湾統治③</li> <li>6. 鄭氏海上王国①</li> <li>7. 鄭氏海上王国②</li> <li>8. 鄭氏海上王国③</li> <li>9. 清朝統治下の台湾①</li> <li>10. 清朝統治下の台湾②</li> <li>11. 清朝統治下の台湾③</li> <li>12. 日本統治下の台湾①</li> <li>13. 日本統治下の台湾②</li> <li>14. 中華民国</li> <li>15. まとめ—今日の台湾—</li> </ol>

「中国の開港と日本の開国」・「海域史から見る台湾」

藤木 原洋（文学部 総合文化学科 特任教授）



1. 研究分野は、歴史教育学、台湾史、洪武帝（明の太祖）期の東アジア外交史、学校教育学（博士）。長年にわたり兵庫県の高等学校教員、管理職として勤務した。（公財）兵庫県国際交流協会、関西学院大学非常勤講師（現在に至る）、神戸国際大学非常勤講師を経て現職。
2. 教科教育における「海域史」、特に「海域史から見た台湾」の研究。  
従来の歴史教育は、各国史が中心となってきた。新学習指導要領に提起されているように、海域史の考えは、「世界から見た日本」に着目した教科教育に適う。そして、海域史の視点から、新学習指導要領に応じた教材開発を行っている。
3. 5W1H。特にWHYとHOWを大事にする授業を行っていく。受講生の歴史的知識をつなぎ合わせて、ストーリーになるような講義を行いたい。日本の開国は、アメリカの力による開港と考えられがちであるが、当時の江戸幕府の官僚たちの先見性が、後の日本にとって大きな役割を果たした点について受講生と共に考えていきたい。
4. 高校生まで学んできた歴史は、「いつ、どこで、だれが、なにをした」ということを中心に学んできました。その歴史を「なぜ」「どうして」という視点から見ると、歴史が「勝者の歴史」であるということが分かってきます。いろいろな観点・立場から歴史を学ぶ楽しさを、受講生の皆さんと共に勉強していきたいと思えます。